

平成 31 年度国際文化交流学科一般入試（前期日程） 小論文 出題意図

I 食文化研究の第一人者として知られる民族学者・石毛直道氏の著作『食の文化地理 舌のフィールドワーク』からの出題。ここでは価値観が多文化化した日本社会のあり様を「エスニック料理」のブームを通して分析している。問 1 と問 3 では文章の記述をしっかり理解し、簡潔にまとめる力を問うた。問 2 では著者が用いている「〇〇のファッション化」という概念を適切に理解した上で、解答者自らの経験にもとづいた例を挙げ、それについての考えを述べることを求められており、自分を取り巻く社会的、文化的状況に普段からどれだけ関心を向けているかが問われている。

II 異文化間コミュニケーションを専門とする 3 名の研究者が執筆した大学生向けテキスト *Among Cultures: The Challenge of Communication* (3rd ed.)からの出題。異文化間理解について、個人主義と集団主義の区別をわかりやすく説明するため、アメリカと中東における友人との挨拶の交わり方が取り上げられている。問 1 では、描写されている状況を理解し、両者の文化的相違を的確にとらえたうえで、該当箇所を要約する力を問うた。問 2 では、本文のエピソードが示唆していることを理解し、適切な例を示しながら、自分の考えを簡潔に述べることを求められる。